

富士市 C N F 関連産業推進構想に基づく 令和 7（2025）年度の主要事業について

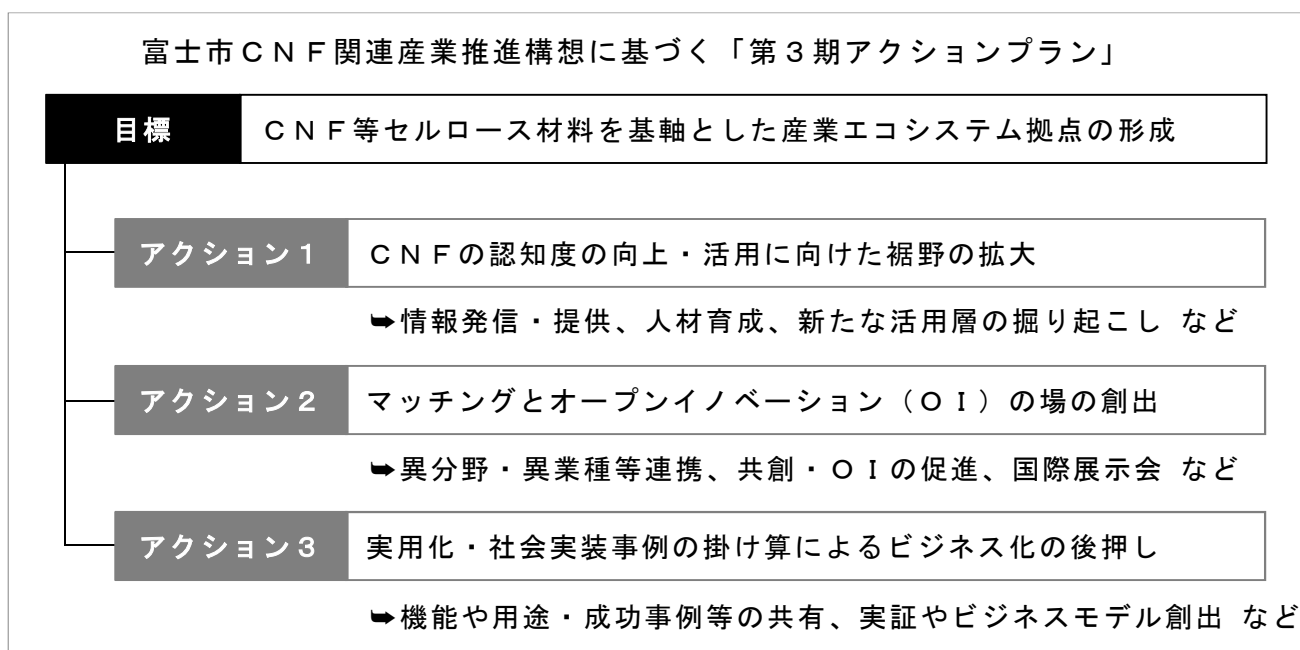
1 富士市 C N F 関連産業推進構想

(1) 推進構想の概要



(2) アクションプラン（A P）

- ▶ 第 1 期 A P（2019～2021 年度）、第 2 期 A P（2022～2024 年度）の取組状況、社会情勢や C N F を取り巻く変化等を踏まえ、2025 年度から「第 3 期アクションプラン」をスタート（資料No. 3）
- ▶ 2025～2027 年度の取組を明確化し、施策の更なる展開を図る

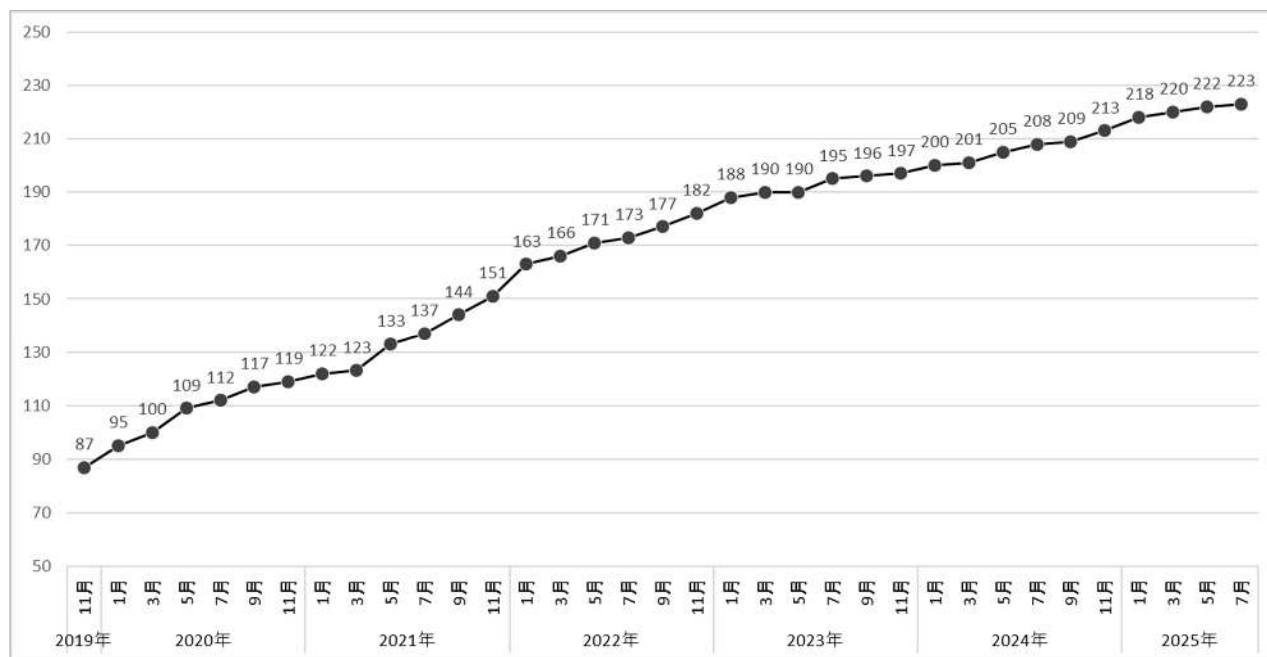


- ▶ 第 3 期アクションプランに基づき、2025 年度事業を計画、実施

2 富士市CNFプラットフォーム

(1) プラットフォームの概況

2025年8月末現在で、会員数223（企業・団体等191、個人等32）となっている。



富士市CNFプラットフォーム会員数の推移

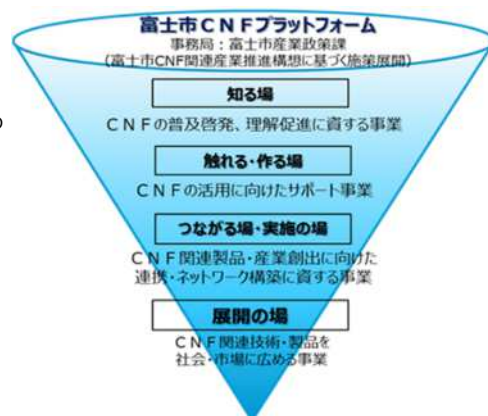
(2) プラットフォーム活動状況

プラットフォーム会員等を対象に、CNFに対する取組状況に応じたステージごとの各種事業を展開している（右図：プラットフォームの事業構造）。

以下に主な事業を報告する。

各事業記載の凡例

- ★：2025年度の新規事業
- ☆：2025年度の拡充・変更等の事業
- 【 】は予算額



知る場 CNFの普及啓発・理解促進に資する事業

■ 富士市CNFプラットフォームセミナー2025

【報償費、委託料 774千円】

- ▶ プラットフォーム活動の報告をはじめ、CNF等の研究開発及び実用化の動向、取組事例の紹介等、会員全体の参画事業として開催
- ▶ 第3期アクションプランのステージに応じたセミナープログラムを構成
- ▶ 来場者161名、ライブ配信聴講者117名の合計278名が聴講
- ▶ ナノセルロースジャパン（NCJ）との連携・協力企画として実施し、NCJ会員の展示を通して参加者同士の交流を促進



【日時】2025年7月24日（木）13:30～17:00

【会場】富士市文化会館ロゼシアター中ホール・オンライン配信

（次第：資料No.4）

■ C N F 普及啓発・普及推進員活動 ☆

【報償費、印刷製本費 619 千円】

- ▶ 市役所等、多くの方の目に触れる場所での「C N F や関連製品の展示」による広報活動を実施（市役所 1 階・2 階、ふじさんエコトピア、静岡銀行富士中央支店など）
2025 年 6 ～ 7 月「しずおか もくまる」を期間展示
- ▶ C N F 普及推進員を 1 名増員するとともに、プラットフォーム会員企業等に普及推進企業等として登録いただき、「普及推進チーム」として活動
- ▶ 活動として、学生・市民等への「C N F 普及啓発講座」を開催
2025 年度は、普及啓発講座：4 件を開催（8 月末現在）



＜普及推進活動・普及啓発講座等の実績＞

年度／活動等内容等	2020	2021	2022	2023	2024
推進員の普及啓発に係る企業訪問件数	15	5	22	21	15
普及啓発講座開催数	3	3	5	9	12

■ ウェブサイトの運用

【委託料 1,558 千円】

- ▶ 会員のための C N F に関する情報収集・情報活用のツール
- ▶ C N F の基礎情報、イベント情報、公募や補助金などのお知らせ、会員情報などを掲載

＜ウェブサイトアクセス推移＞

年度	2019(11 月～)	2020	2021	2022	2023	2024
アクセス数	2,282	14,639	19,000	17,694	14,467	13,824

■ 会報紙制作・発行

【印刷製本費 65 千円】

- ▶ プラットフォームを紹介・PR する媒体として、会報紙を年 1 回発行
- ▶ 会員情報やプラットフォームの取組を取り上げ、会員向けやイベント等における広報活動
(第 6 号(2025 年 1 月発行)は西村先生を特集)



■ 触れる・作る場 C N F の活用に向けたサポート事業

■ ナノセルロース・実習コース

- ▶ N C J 主催、東京大学・静岡大学・静岡県工業技術研究所・富士市が連携し開催
- ▶ 「N E D O C N F 人材育成講座」を継承し、2024 年度から N C J 主催で新たにスタートした人材育成プログラム
- ▶ C N F の社会実装の加速・C N F 先端開発技術者の育成を目的
- ▶ 静岡県（静岡大学・静岡県工業技術研究所）コース、東京大学・富士工業技術支援センターコースを開設
- ▶ N C J 一般会員は受講料が無料

< 静岡大学・静岡県工業技術研究所コース >

期日：2025 年 9 月 25 日(木)～26 日(金)

会場：静岡県工業技術研究所(本所、富士工業技術支援センター)

定員：12 名

講師：静岡大学 青木 憲治 准教授

静岡県工業技術研究所化学材料科・富士工業技術支援センター C N F 科

内容：講義と二軸押し出し機デモ試作、各種評価、実習（射出成形、X線CT等） 他

< 東京大学・静岡県富士工業技術支援センターコース >

期日：2025 年 12 月 1 日(月)～2 日(火)、12 月 8 日(月)～9 日(火)

会場：東京大学、静岡県富士工業技術支援センター

定員：6 名

講師：東京大学 磯貝 明 特別教授、富士工業技術支援センター C N F 科

内容：東京大学での講義&研究室見学

実習（TEMPO酸化CNF、リン酸エステルCNFの作製等） 他

■ 産学連携 C N F チャレンジ補助金

【補助金 3,000 千円】

- ▶ 市内の中小企業者等が行う C N F の用途開発に関する大学等（C N F サプライヤー含む）との共同研究・開発に係る経費の一部を補助

< 補助金交付実績 > ※2025 年度は見込み

単位：千円

年度	2016	2017	2018	2019	2020
件数	1	0	2	3	6
補助金交付額	774	0	1,263	1,668	4,040

年度	2021	2022	2023	2024	2025
件数	6	5	5	7	3
補助金交付額	5,040	4,104	4,985	6,401	3,000

■ 大学等高等教育機関共同研究講座等開設補助金 ★

【補助金 1,000 千円】

- ▶ C N F の実用化やグリーントランスフォーメーション（G X）の推進、デジタルトランスフォーメーション（D X）への対応など、時代や社会の要請に応じ、急激な産業構造の変化に対応し、高度な専門性を有するものづくり人材の育成が重要
- ▶ 大学等高等教育機関と連携し、特定の分野に係る高度人材・即戦力人材を育成するための講座やコース、プログラム等の開設、運営等に要する費用の一部を補助
- ▶ 共同研究講座に限らず、リスキリングプログラム、公開講座、社内研修など幅広く、企業の即戦力人材の育成に活用

区分	内容
補助率	補助対象経費の単独 1 / 2 以内、コンソーシアム型 2 / 3 以内
補助上限額	100 万円／件
補助対象経費	大学等に支払う経費、人件費、消耗品費、委託費・外注費、備品・機材導入費 他

■ 富士市C N F連携拠点活用補助金 ★

【補助金 1,000 千円】

- ▶ 富士工業技術支援センターから提供されるC N F等微細化セルロースのサンプルを用いた試作、用途開発、技術相談等に係る費用の一部を補助

区分	内容
補助率	富士市C N Fプラットフォーム会員のうち 市内事業者：補助対象経費の2 / 3 以内 市外事業者：補助対象経費の1 / 2 以内
補助上限額	25 万円／件
補助対象経費	旅費、原材料費、消耗品費、外注・委託費、技術指導料 他

つながる・実施の場 C N F 関連製品・産業創出に向けた連携・ネットワーク構築事業

■ 富士市C N F連携拠点「磯貝 明 東京大学特別教授ラボ」

- ▶ 2022 年 6 月、静岡県と連携し、富士市の活動拠点となる「富士市C N F連携拠点」を富士工業技術支援センター内に設置
- ▶ 拠点活用として、東京大学磯貝先生を招聘し「磯貝 明 東京大学特別教授ラボ」を設置
- ▶ 磯貝先生が、月 1 回程度来富し、企業面談や技術相談、企業訪問、富士工技との実習・指導、静岡大学との情報・意見交換などを実施



■ 富士市C N F連携拠点活用事業（委託） ★

【委託料 2,000 千円】

- ▶ 前述の富士市C N F連携拠点における「研究開発」と「人材育成」に関するプログラムを委託事業として実施
 - 研究開発：プラットフォーム会員の大学等研究者を代表者に、会員企業との連携により、大学等が保有する技術シーズを連携する企業に展開
「マイクロフィブリル化セルロース（MFC）/PP 複合材料のサンプルワーク」および「MFC/PP 射出成形試作品のマーケティング」
 - 人材育成：N C J 主催「ナノセルロース・実習コース」を連携開催
「C N F と樹脂の複合化技術」
- ▶ 2025 年 5 月に静岡大学（実施代表者：グローバル共創科学部 青木先生）と委託契約を締結し事業をスタート

■ プラットフォームビジネスマッチング展示会 ★

【報償費、委託料等 1,795 千円】

- ▶ 静岡県と開催する「ふじのくにセルロース循環経済国際展示会」において、富士市事業として、集客・誘客及びマッチングに関する以下の取組を実施

＜大学等研究シーズ出展及びマッチング＞

C N F 関連の研究開発を進める大学等研究者に出展いただき、来場者や出展者とのマッチングを図る。

<デジタル技術活用による広報事業>

CNF等に関心・興味がある層やビジネスターゲットに対し、効果的・効率的な広報展開（ジオターゲティング広報、検索エンジン広告等）を行い、集客・誘客を図り、マッチングを促進する。

■ CNFマッチング・オープンイノベーション促進事業 ★ 【委託料 8,000 千円】

- ▶ 2022～2024 年度において、「デジタルツールを活用したCNFオープンイノベーション促進事業」を実施し、プラットフォーム会員のデジタルを活用した新しいビジネス手法の導入、CNFの用途開発を加速する異分野・異業種の共創に向けたオープンイノベーション（OI）活動の促進を支援
- ▶ 2025 年度は、これまでの事業内容に加え「認知度の向上・活用に向けた裾野の拡大」に向け、CNF非認知層やスタートアップ等への広報・PRを展開するとともに、「マッチングとOIの場の創出」に向け、リアルとデジタルを組み合わせた効率的かつ効果的なビジネスマッチングの機会の創出として、以下の①～③を一体的に実施
 - ①CNF事業シーズピッチ
 - ②CNF企業マッチング
 - ③共創・OIによる用途開発や実用化
- ▶ 株式会社 eiicon を委託先に、首都圏等におけるピッチイベント及びマッチング、同社が運営するデジタルOIプラットフォーム「AUBA」における共創PRの拠点の整備、パートナー探索・マッチング・ナレッジシェア等を行う伴走型コンサルティング支援を実施

<参考：2022～2024 年度事業の実績>

区分	支援内容・実績等				
12 社(ホスト企業)への支援	・「AUBA」共創PRページの作成支援 ・メッセージ送信、面談、進捗管理等のコンサルティング支援 ・「AUBA」内で富士市CNF特集ページ（拠点）の作成				
12 社のAUBA活用実績(合計)	マッチング総数	初回面談数	初回面談率	継続面談数	共創開始数 (NDA 締結・共創)
	113 社	61 社	54%	55 社	6 社
広報活動	・専門メディア「TOMORUBA」での情報発信（2回／年） ・「AUBA」会員に向けたメルマガ情報発信 ・「PR TIMES」（プレスリリース）による情報発信				

展開の場 CNF関連技術・製品を社会・市場に広める事業

■ 富士市CNFブランド認定事業「F CNFブランド」 【報償費 60 千円】

- ▶ CNF又はCNF関連技術を活用し、生産・製造・加工等した製品等を「富士市CNFブランド『F CNFブランド』」として認定
- ▶ 2021 年 8 月に制度を創設し、現在（第 6 期）までに 16 社 18 製品を認定

■ 富士市C N Fプラットフォームプロモーション推進事業

【委託料 2,336 千円】

- ▶ 会員の技術・製品のP R、ユーザーやバイヤー等とのビジネスマッチングの機会とする
とともに、プラットフォームの紹介・P Rを首都圏等における大規模展示会に出展
- ▶ 2025 年度は、「nano tech 2026」にナノセルロースジャパン等とともに出展予定

【会期】2026 年 1 月 28 日(水)～30 日(金)

【会場】東京ビッグサイト

【概要】・会員企業等を募集し、「富士市C N Fプラットフォームブース」にて出展

・N E D O ブースでも出展(ポスター展示)予定



< 参考：2024 年度のプロモーション関連事業の実績 >

実施日	出展イベント名等	会場
2024. 7. 30～31	C N F の最前線 2024	大阪産業創造館
2024. 9. 13	JAPAN OPEN INNOVATION FES 2024	赤坂インターシティコンファレンス
2024. 10. 24～25	ふじのくにセルロース循環経済国際展示会	ふじさんめっせ
2024. 11. 8～9	産業振興フェア in いわた	アミューズ豊田
2025. 1. 29～1. 31	nano tech 2025	東京ビッグサイト
2025. 2. 7～8	富士市「ものづくり力交流フェア 2025」	ふじさんめっせ

3 他の機関との連携

(1) 静岡県「ふじのくにC N Fプロジェクト」との連携

■ ふじのくにセルロース循環経済フォーラム

- ・ 2023 年 6 月 2 日に改組・設立した「ふじのくにセルロース循環経済フォーラム」の各種事業と連携
- ・ 国際展示会(共催)、フォーラムセミナーでの取組紹介、循環経済ビジネス実証事業の実施者へのフォローアップ、「しずおか もくまる」P R 事業、C N F コーディネーターとの連携・橋渡し など

■ ふじのくにセルロース循環経済国際展示会

- ・ 2025 年 10 月 16 日(木)・17 日(金)@富士市産業交流展示場ふじさんめっせにて開催
- ・ 出展者募集、来場者の広報や集客、大学等出展者のとりまとめ など
- ・ 10 月 15 日(水)C N F 等セルロース材料に関する研究者交流会&N C J「ナノトビ」セミナーの連携開催を調整

■ 富士工業技術支援センターとの連携

- ・ 「ナノセルロース・実習コース」や各種展示会への出展等において連携・協力
- ・ 富士市C N F 連携拠点「磯貝 明 東京大学特別教授ラボ」における企業面談の調整やC N F 科職員の実習等の機会について連携
- ・ 「富士市C N F 連携拠点活用補助金」の創設・運用
- ・ 企業等からの相談の橋渡し

(2) 静岡大学との連携

■ 富士市C N F連携拠点活用事業（委託）【再掲】

■ 委員、講師等における参画・協力

- ・ 青木先生、西村先生への富士市C N F関連産業推進懇話会の委員就任、各種セミナー・講座等での講師を依頼 など
- ・ 市内事業者との面談やマッチングによるプロジェクト組成、富士市C N Fプラットフォームの各種事業における連携

(3) ナノセルロースジャパン（N C J）との連携

■ ナノセルロースジャパン第6回総会の開催

- ・ 2025年7月23日(水)ロゼシアターで開催（開催地として富士市へ誘致）
- ・ N C J会員によるポスター展示等を、翌24日(木)プラットフォームセミナー2025でも実施いただき、N C J会員とプラットフォーム会員等の交流・ビジネスマッチングを図る。

■ ナノセルロースジャパンへの参画（組織、会議、事業等）

- ・ オープンイノベーション「ナノセルロース塾」第8期、ナノセルロースのトビラ研究会「ナノトビ」等の参加者募集広報を行うとともに、富士市も事業に参加
- ・ N C J幹事会にアドバイザーとして参画
- ・ N C J事業化推進分科会副分科会長として、同分科会事業の企画・実施

(4) 他地域の推進組織等との連携

■ 環境省ナノセルロースプロモーション事業への参画

- ・ 2025年度の同事業の事業運営委員会特別委員として参画（年3回開催）
- ・ C N F地域コーディネーター連携会議へ出席（5月28日）

■ C N Fに関する地域連携協定の活用

- ・ 2016年12月にナノセルロースフォーラム（現：ナノセルロースジャパン）と（地独）京都市産業技術研究所、四国C N Fプラットフォーム（四国地域）、ふじのくにC N Fフォーラム（静岡県）が、C N Fの地域展開の強化・加速化に寄与することを目的に、相互連携・協力に関する協定を締結。現在は、上記地域に加え、岡山県、宮城県、薩摩川内市が加わっている。
- ・ 当市は、静岡県が締結している協定を活用し、他地域との連携事業やイベントの開催、企業相談に対する橋渡しなどを展開

4 当初計画に追加実施のC N F関連・連携事業

■ 静岡県パブリックピッチイベント事業【県産業イノベーション推進課】

- ▶ 静岡県は、「静岡県内の課題×スタートアップ」による課題解決に向けた「令和7年度静岡県パブリックピッチイベント事業」を実施
- ▶ 富士市からは、「新素材・新産業」をテーマに、『紙のまち』から『新素材のまち』へ。富士市C N F関連産業の共創促進」を提示し、スタートアップからのソリューション提案、富士市とのマッチングの促進を図る
- ▶ 10月20日(月)にスタートアップからの提案を受けるピッチイベントの開催を予定

■ 富士市トライアル発注推進事業【市産業支援課】

- ▶ 市内の中小企業者が提供する新規性の高い、優れた新商品・新サービスを市が認定・公表するとともに、必要に応じて市が試験的に発注を行うことで、市内中小企業者を支援する制度がスタート
- ▶ 認定期間中(3年間)、名称や特性、価格、事業者名などを広く周知
- ▶ 市が随意契約により試験的に発注し、販路開拓の促進、受注機会の増大、新たな事業分野の開拓、経営革新の促進を支援

■ 富士駅北口駅前公益施設におけるC N F等セルロース材料を活用した技術・製品等の提案募集【市市街地整備課】

- ▶ 富士駅北口駅前広場整備事業として、富士駅周辺の賑わいづくりや公共交通利用者の利便性向上を目的に、駅前広場を重層的に活用した公益施設を整備予定
- ▶ この施設整備において、C N F等セルロース材料の社会実装を後押しするため、プラットフォーム会員が有する技術や製品等の提案を募集し、同施設における活用を検討

■ サステナブルマテリアル展@名古屋への出展＜プロモーション推進事業＞ 【県富士工業技術支援センター】

- ▶ 名古屋では初開催の「サステナブルマテリアル展」に、富士工業技術支援センター・富士市C N Fプラットフォームにて出展予定
- ▶ 2026年2月18日(水)～20日(金)：ポートメッセなごや

■ 新富士駅南地区土地区画整理事業に伴う拠点施設整備【市企画課】

セルロース素材を主軸とした研究開発と人材育成等に関する機能・拠点の検討

- ▶ 新富士駅周辺の整備において、「にぎわい・交流・教育の拠点」となる機能を設置、誘導していきたい中、大学等高等教育機関の誘致等を検討
- ▶ 特に、静岡大学との研究開発、教育・人材育成、産学官連携・共創等に関する拠点形成を目指す(静岡大学、静岡県、産業界、富士市による連携体制)
- ▶ 拠点のコンセプトとしては、C N F等セルロース素材を主軸に、バイオマス、G X、サーキュラーエコノミー等が想定されるが、大学の方針やシーズの展開、産業界からのニーズや要望に基づき、拠点の機能・役割等を検討する
- ▶ 富士市の資源や産業を活かし、特定の領域で強みをもつ研究開発と地域ニーズに応じた人材育成等を展開し、地域産業の競争力強化、魅力ある仕事・雇用を生み出す

5 推進構想に基づく成果指標に対する進捗状況

- ▶ 推進構想に基づく「第3期アクションプラン」の策定に伴い成果指標を改訂
- ▶ 2025年度以降、以下の成果指標に基づき、事業の進捗等を評価

＜推進構想の各方針に基づく指標の進捗状況＞

方針		指標	基準値	現状値 2024年度	中間値 2027年	目標値 2030年
1	CNFの理解促進	市内事業者のCNFの認知度	66.7% (2018年度)	85.0%	90.0%	95.0%
2	CNFの活用促進	CNF関連補助金の活用件数 (累計)	25件 (2019～ 2023年度)	30件	45件	60件
3	CNF・地域産業の拠点とネットワーク形成	プラットフォーム活動を通じて新たな連携、共同事業、商談等が生まれた市内事業所数	—	14社	22社	30社
4	CNFの事業化推進	CNFを活用し、製品化した市内事業所数	1社 (2017年度)	16社	24社	30社
5	CNFのまちブランド育成	富士市を「CNFのまち」と思う市内企業の割合	—	49.6%	55.0%	60.0%

※その他参考指標として、推進構想における目指すべき将来ビジョン「CNFでつながりひろがるものづくりのまちふじ」の実現に向けて、富士市工業振興ビジョン等で設定する成果指標（製造品出荷額等、活気がある工業都市だと思える市民等の割合）を参考値とする

6 本日の懇話会でのディスカッション

富士市CNF関連産業推進構想「第3期アクションプラン」に基づく取組について

(1) 令和8（2026）年度の事業

- ・ 令和7（2025）年度の事業計画・報告、これまでの実績などを踏まえて、令和8（2026）年度に実施すべき直近の取組等（継続・新規・拡充・変更・廃止など）
- ・ 富士市として実施すること、進めるべきこと

(2) 地域産業の競争力強化、魅力ある仕事・雇用の創出など、地方創生に資する拠点の機能・役割等に関する検討

★第3期APの「CNF等セルロース材料を基軸とした産業エコシステム拠点の形成」

★新富士駅南地区土地区画整理事業に伴う拠点施設整備

- ・ 拠点に求められる具体的な機能や役割
- ・ 特に、大学にどのような機能や取組を求めたいか・嬉しさとなるか（主に産業界）
- ・ それぞれの立場から、できること・関われることは何か